

東広島地域職業訓練センターにおける
新型コロナウイルス感染症対策について

平素より当協会の業務運営につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、広島県では昨年5月15日に制定した「新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島県の対処方針」（令和3年12月1日一部改正）のもと、継続して感染拡大防止対策の徹底と、他県への移動については移動先地域の情報を確認すること、特に感染拡大地域への往来は、より慎重な判断を求めています。

また、まん延防止等重点措置に適用（2月20日まで延長）されたことを受けて、より強化した感染拡大防止対策への取組みを示しています。

当センターにおいても、引き続き感染予防対策の強化に努めながら、講習を行っているところです。

つきましては、当センターで実施する講座において、下記のとおり注意事項等をご案内させていただきますので、この取組みの徹底について、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今後変更等がありましたら、随時ホームページでお知らせいたします。

記

～企業ご担当者様、受講者様～

1. 発熱（37.5度以上）、風邪や倦怠感等の症状がある場合は、講座への参加の見あわせをお願いいたします。

お申込み後、参加を取りやめる場合は、当センターへご連絡をお願いいたします。

2. ご出席をされる方は、マスクの着用、手洗い・アルコール消毒の徹底をお願いします。

当日のご出席前には必ず検温をしていただくようお願いいたします。

当日受付時に体温の確認をさせていただき、改めて検温していただく場合もございますので、ご了承ください。

3. 新型コロナウイルス感染症などの影響で、やむを得ず講座を中止または延期する場合がありますので、ご了承ください。

～センターの感染予防対策～

1. 館内に、除菌スプレーを設置しています。（手洗いには石鹸をご使用ください。）
2. 教室内の定期的な換気を行います。（各自で気温対策をお願いします。）
3. 座席は十分な間隔（できる限り2m以上）をとって着席していただきます。
教室の仕様によっては、机上パーテーションパネルを設置させていただきます。
4. 密集時間を減らすため、講義時間以外の開・閉講式を簡略化いたします。
5. センター職員も感染予防対策としてマスクを着用し、受付窓口で透明の仕切りを設けております。

皆さま方へは大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございませんが、何卒ご理解頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

令和4年1月27日

職業訓練法人
東広島地域職業能力開発協会

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの「密」を避けましょう！

①換気の悪い
密閉空間



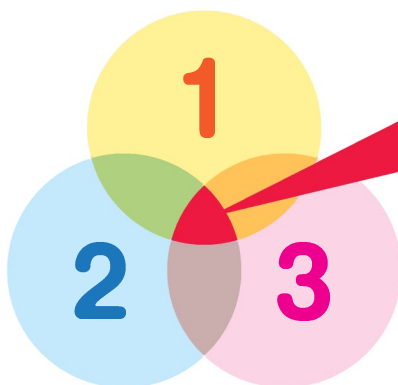
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い！

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。



3つの密を 避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、**「3つの密(密閉・密集・密接)」**を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り**「ゼロ密」**を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

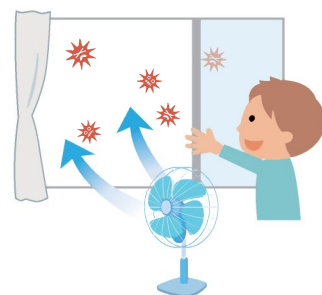


①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を!

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

窓がある場合

- ・ 風の流れができるよう、**2方向の窓を、1回、数分間**程度、**全開**にしましょう。換気回数は**毎時2回以上**確保しましょう。
- ・ 窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。



機械換気がある場合

- ・ 窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。
注)ビル管理法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量(毎時約30m³)を確保するよう努めなければなりません。
- ・ したがって、地下や窓のない高所の施設であっても、換気設備(業務用エアコン等)によって換気されていることが通常のため、過剰に心配することはありません。
- ・ しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- ・ 通常の家用的エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確保してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気量が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

乗り物の場合

- ・ 乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく「**外気モード**」にしましょう。
- ・ 電車やバス等の公共交通機関でも、**窓開け**に協力しましょう。



②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう!

- 他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離（2メートル以上）を取りましょう。
- スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないように注意しましょう。



- 飲食店の座席では、隣の人と一つ飛ばしに座ると、距離を確保しやすいです。

また、真向かいに座らず、互い違いに座るのも有効です。

店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。



- エレベーターでは、多くの人々が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。



- 職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata



③「密接」した会話や発声は、避けましょう!

- ・密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHOは「5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ(約3,000個)が飛ぶ」と報告しています。
- ・対面での会議や面談が避けられない場合には、**十分な距離を保ち**、マスクを着用しましょう。
- ・エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。**会話や、携帯電話による通話を慎みましょう。**
- ・飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない催しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。
注)「多人数」とは10人以上を想定していますが、なるべく少ない方が良いです。
- ・スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。
- ・喫煙も、近くにいる人との「密」に、ことのほか注意して下さい。

